

キャラクター名
宮守 翠

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	何でも屋	カヴァー	何でも屋
	オルクス					
オプション			年齢	17	性別	男
覚醒	無知	衝動	解放	初期侵食率	38%	
出自	姉妹	経験	危険な仕事	邂逅	師匠(月城夜風)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	1	0			2	行動値	7
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	3	0	0			3	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ハンドレットガンズ		0		Lv+4		何も無い場所から弓を生成する
赤檀の一矢(100↓)	射撃	10r		15		①+②+④+⑤+⑦+⑧
赤檀の一矢(100↑)	射撃	12r		18		①+②+④+⑤+⑦+⑧
パウザ・ローザ	射撃	12r		30		①+②+③+④+⑤+⑦+⑧

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
コネ: 情報屋	
コネ: 噂好きの友人	
コネ: 要人への貸し	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
No.59「想い人」(オンリー)	P	N		
宮守蒼(想い人)	P 慈愛	N 悔悟		
月城夜風	P 尊敬	N 恐怖		
シリアロイス	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ハンドレットガンズ	1	3	マイナ	至近	自身	自動		
効果: 射撃武器作成								
<射撃>カスタマイズ	3	2	Xジャー	武器		対決		
効果: 判定ゲイス+Lv個								
<シ>クリスタライズ	3	4	Xジャー			対決	100%	
効果: 装甲無視 攻撃力+[Lv*3] シリアロイス								
<射撃>形なき剣	1	2	Xジャー	武器		対決		
効果: このエリアに対するドッジゲイス-Lv個								
<シ>コンセ: オルクス	2	2	Xジャー		単体	対決		
効果:								
<シ>要の陣形	3	3	Xジャー	武器	3体	対決		
効果: 対象を3体に シリアLv回								
<シ>大地の加護	5	3	Xジャー			対決		
効果: 攻撃力+[Lv*2]								
<シ>アニマルテイマー	3	3	Xジャー/リアクション			オート		
効果: 判定ゲイス+[Lv+1]								
未知なる陣形	1		常時	至近	自身	自動		
効果: 《要の陣形》の対象を3体→5体								
砂の加護	2	3	オート	視界	単体	自動		
効果: 対象が判定を行う直前に使用 判定ゲイス+[Lv+1]個 1回/R								
万能器具	★		Xジャー		至近	自動		
効果: 携帯電話など、日用品は全て作ることが出来る。								
テクスチャーチェンジ	★		Xジャー		至近	自動		
効果: 物の機能はそのままで見えを変えられる。黒薔薇のイヤリングにした連絡用の端末、等。								
効果:								

【SS】
「黒薔薇っていうのは、黒に近い赤い薔薇なんだって。だから、この世界に真っ黒な薔薇は存在しないんだよ」
僕の薔薇は、この世に存在しない黒だった。光を呑む天鵝絨の花弁は、何物にも染まらない黒い花弁。それが最近、少しずつ赤みを帯びてきている。真紅の瑪瑙のような、いやそれよりももっと黒に近い、赤檀。英語ではレッドサンダルウッドというらしい。
僕の力が変質し始めたのだろうか、それとも、精神的な何かが影響しているのだろうか。少なくとも、あの時の僕から何かが少しずつ変わり始めているのは確かだ。
僕は未だもがいている。絶対的な正しさを語るにはあまりに幼い。そもそも絶対的な正しさは本当にあるのか？それすらも分からない。贖い、償い、僕のした罪を僕自身も許せるようになるのはいつだろう。それがわからないから、今日も「誰かのために」この力を振るう。
その先に、蒼だけじゃない、皆が笑ってくれるような夢の世界があるかもしれない。そう信じて。
「エレウシスの秘技」後
木花市に戻って、少しずつだけ蒼と昔みたいに接することができるようになった。

【設定】
一人称: 僕 二人称: (友好)キミ、(敵対)お前
FHセルを率いるセルリーダーとは過去の話。ケイさんGM「Black Obsession」の後、彼なりに改心して贖罪に励む道を選んだ。まずは善悪の基準を確立することが急務だと考え、何が善で、何が悪か。そもそも絶対的な善悪はあるのか？そう思いながら廃ビルで仲間たちと共に何でも屋をしている。「誰かのためになること」「それで誰かが傷つかないこと」を理念に掲げるが、まだまだ実行は難しい様子。迷い猫探し、浮気調査、遺産の発掘、FHの撃退、なんでもござれ！今はただがむしゃらに、日々依頼を受けるのみ。今でも自分にとって一番大事な存在は妹の蒼であることは変わらない。
性格は、牙を抜かれて少し大人しくなったか、人の話を聞くようになった。それでも少しのことでむっとしたり、語気を荒げたり、まだまだ幼い面も残っている。以前ほど好戦的な姿勢を取ることはなくなったが、敵対する者に対しては依然として容赦はない。

【エフェクトの変化】